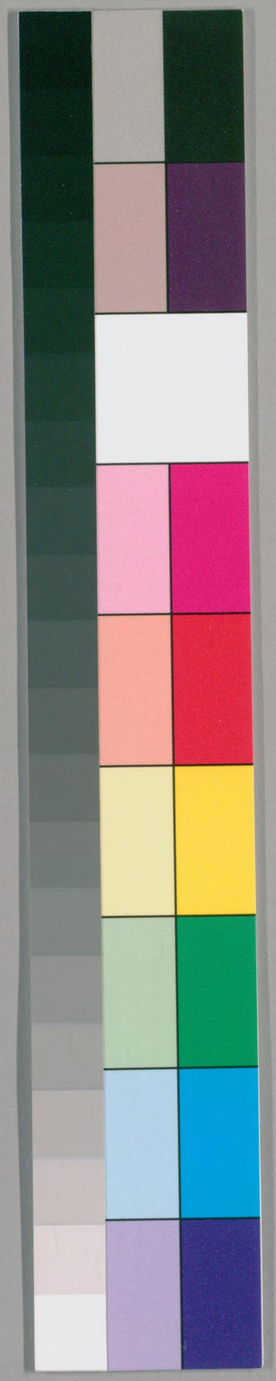
830
30
107



国立国会図書館　　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

宇津保物語

吹上 上
正本 十巻
九

今板本十の巻

古本六の巻

830
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

文花
4. 7. 20
購求

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

連枝
八雲三 兄弟つゝきの枝

文迂注 兄弟如木連枝而同本ニテ
千字文新注 父母如樹兄弟如枝同気父母之気故曰連枝

梅枝十七 えんのうへ このひろきにわにうへたるものうつろうてこそ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

歌

（朱）
あさ寒うりはらうきくをわりてみるかさ
しらつゆをみよも袖さへ先みしほらみてく
いとせちらちらと散りうら
（御門 切）
ふそまろたまおよそ（七ム 落字アリ 三）
ひろをみうううれしさ（さイ）哉つのみ
（菊園）
秋それそおくものとろ多
の雪をるふるみさん（くらヨ 六）中勢のみて
（凡賀）
蔦（のヨ凡）それりいくのうらのこと
（もとろ凡）（れじイ 今三）れい雪のそこ
ろみ我とのみてん。当郡（ヨろム）の
あ〳〵ろくの地名（ママ）そのうら祢るれいろれを

あわふれみもあうれ　左衛
（正頼）
ろくろくろうちもをこそ
これ雪雪をあさとみろうの

うくてみくちいくくれいて海
ほきうみまうり。海面
うらてぐむ陣ぬ海よみんぐ学ぬ
しあれいせんくうりて。屋とんなうりゆきぬき
そうすりて役涼ぬうて空人めくれ
海かぐうり。海面よらんれ
一うり地ぬくうろのきぬこ
天ぬすうへい十去乃ぬ
ひくみをうくしてはくうぐ
うりうり。はきぬそいぬ
まいり地ぬうぐなうん

横座 キヨ
棚 厨子 十あうりぬのこきナ立てはくい
生 物 乾
堅 物
ひ
ヨはくイムヌ
ヨはイムヌ
ヨはイムヌ
ヨは

哇玉抄

八

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

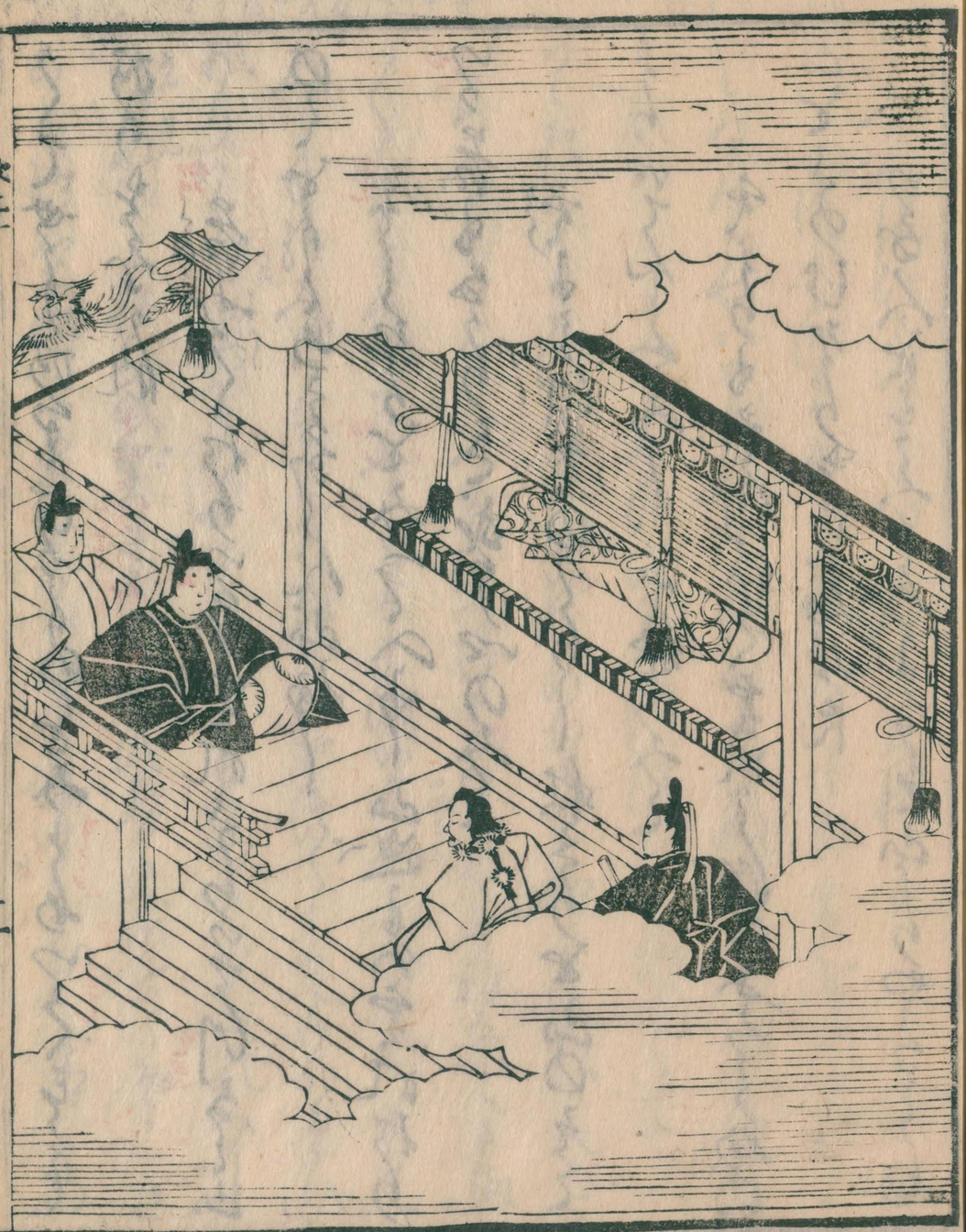
孔雀経
仏説孔雀王呪経二巻
仏説大孔雀王神呪経
一巻 仏説大孔雀王雑
神呪経二巻 大金色孔
雀王呪経一巻 ナド蔵
中ニ多ク見エタリコニ云
ハ今真言家ニテ用ル
大孔雀明王経ナルベシ
三巻不空ノ訳ナリ
聖迦経

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

ひしくに、それを聞きつけて、ここかしこより、
して、ものいひつきものみしりなどいひ
ものうそぶきひかごとみしりなどいひ
さうの人をおほくつかはしてもとめさせ
まうのぼりぬとのたまはせければ、
つとこもりゐたるを、おほやけにきこしめして、
るんやのおほきおとどにおほせられて、
！られうんとうんぢやうよ。
えそそしきものをみとしたのやくひとの
ひれうんとうんぢやうよ。
ものいひつきものみしりなどいひ
ものうそぶきひかごとみしりなどいひ
さうの人をおほくつかはしてもとめさせ
まうのぼりぬとのたまはせければ、
つとこもりゐたるを、おほやけにきこしめして、
るんやのおほきおとどにおほせられて、
！られうんとうんぢやうよ。
えそそしきものをみとしたのやくひとの

万二 泣涙霑ヒヅチ袖ヲ霖ニ
語者ヲ
詩ニ曰ク 瞻望弗及
泣涙如雨ノ

おもてをのみまもりてこそゐたりつれ
まうのぼりぬとのたまはせければ、
つとこもりゐたるを、おほやけにきこしめして、
るんやのおほきおとどにおほせられて、
！られうんとうんぢやうよ。
えそそしきものをみとしたのやくひとの
おもてをのみまもりてこそゐたりつれ
まうのぼりぬとのたまはせければ、
つとこもりゐたるを、おほやけにきこしめして、
るんやのおほきおとどにおほせられて、
！られうんとうんぢやうよ。
えそそしきものをみとしたのやくひとの



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

古今 春 紫文 梅の花 にほふ春べは originals
時ぞともなくとどくそ
みくるる
天徳三年内裏哥合
春霞 こめつる
うぐひすの 声ぞ
まよふも

うぐひすや
馬厨屋 平又後世
ま駄餉とろ
みそれをそのそ
うぐひすや
これいかれる
みやせ
毎日毎日あって
駄糖なくて
うぐひす此句の内を
出すべきなり

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

（廿五ノ二文字ハ二行ニリテ地ニ付ケル如シ世テイトスベケナリ 但シ放島ノ作文ト中衛ノ人ヲ通文ノ二リテ消ヌクラスル心其故ハ人ヲトニアガスニシキ為アリ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

竹取 王人の中よりもせうる笠あり 有の
おもりあり 又あるも
不死の薬 ろうそく
三代実録八 清和天皇
貞観六年正月十四日 処
子寺 空也上人仁寿 ま
田仁 夢往天竺薬
ま此 是三十三天不死
勅薬 ろう
本草和名十六巻
不死薬廿一種 ま 署

みてとなうしうぐうぐうさめいえうし
蓬萊の玉の枝 ふしあなの
ふくさくらのエ
くらとの
かむなしのみ
くもあれつつうつうれとも
しこやうてもをさうもし
ふくろ
ふくろ
らくタ
らくタ
うタ
うタ
ナヨイコヨ
ヨコスジ
ヨコスジ
ヨコスジ

なつかしよるなみ

をとこみ人のこゑもて

みれもてゝうん。うちもし

打ちくゝゐうち風も

うへきれうそ。三の

ことつゝもつゝ。ゆさ

おろしの風も

をとんよるなん。ゆさ

年山里（とし）

らんおろしの風。此のみこと

こゝろもの

打ちうへく打風ふ

しこうをもうをあれ。

くれぬの笹（ささ）もやく風をうく松の

うのくこゝろん。そこ

くゆ（舞歌）こゝ。こゝ（重正）

ひこ。お大将のゆ

よられ。たゝくみこゝ

ゆこんとこゝ。

らこよ。みつら（みつら）ゆこて

ゆこゝ（ヨて イタ）よゆこゝ。

ゆこゝ（ヨさ ムさ）

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

[illegible]
[illegible]
[illegible]

つまえ。うこくていさうり面魚のあこ
まもあそろくくくくくのみどのこ
ろもそこいろて。これまあそろ
よいさくうる事ろそまろ
て。くうれそくそまろ
ここそまろ給
ろまろ給ふ。ふあこまも
ろ給ふ。ふあこまも
んあざろ。あどくふこ
ろ給ふ。ふあこまも
ろ給ふ。ふあこまも
ろ給ふ。ふあこまも

[illegible]
[illegible]
[illegible]

830
107

てそゆくとみるあみやとおもふ
のうちみてとうちあつの月うち清者志池
もりおふ多のよ川をそくく
れおそうへまうら清うをうち多の
おそくまれ友多い六十余日ハうらうち者
いでやくせんとまるかひれ雪くよ
策
多のひうちくさをそ清ハタ
それのそくくひりのハ山のそうれてそ
ヨリ四ノ句ヘ寄
庵くおそうもなく雪ふる日
うそくふあくなみしく雪ふれとうのうへ清
物みそありもう

ハ 庚午六月廿三日以古写本令一校早
タ 庚午十二月十三日以通光校本令校合早
ナ 辛未六月廿四日以羽倉本令一校早
ハ 癸酉六月廿日以橋本古写令一校早

文久癸亥霜月念二校合　月舎主人

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

830
107

放鳥試　方略宣旨　口挂物遣若坊

吹下ニオ
少女奏　四十七オ　けふハるさめの文人ものもとめんとそ
のゝしるこのこと　唱ふる学生十人
ゐて式アのつぎのかゝの歌をかゝせつゝ
てゆふぐれまでかゝりきめも八
いとをゝしかりけり　○四十七オウ　師
一神　文人八儒者がり学生八今日及第をへき人を
つゝのゝ毎　河　放鳥試ふる　細　放鳥の作文とて中峠の人ものそれ
ゐてさせ　の同じ
少女奏　十三ウ　文人ぎるゝ　河　文人八文章生きふり八擬文章生とて文章生に擬する
ゝ或擬進士云云　細　進士及第ふり花鳥と番くゝるる大数をあけてり八二ふり方略
の宣旨をふるふ人八本の文章の生へ進士をて四ふり進ふを擬文章生と八
りゝゝ文人ぎるゝとハゝこゝゝふ　花　方略八無端ふるとふゝ　校長二奏

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

830
107

コ　庚午六月廿三日以古写本合一校了
タ　庚午十二月十三日以通光校本合校了
ハ　辛未六月廿四日以羽倉本合一校了
ヰ　慶應六月廿日以塙本古写合一校了

文久癸亥霜月念二校合　月舎主人

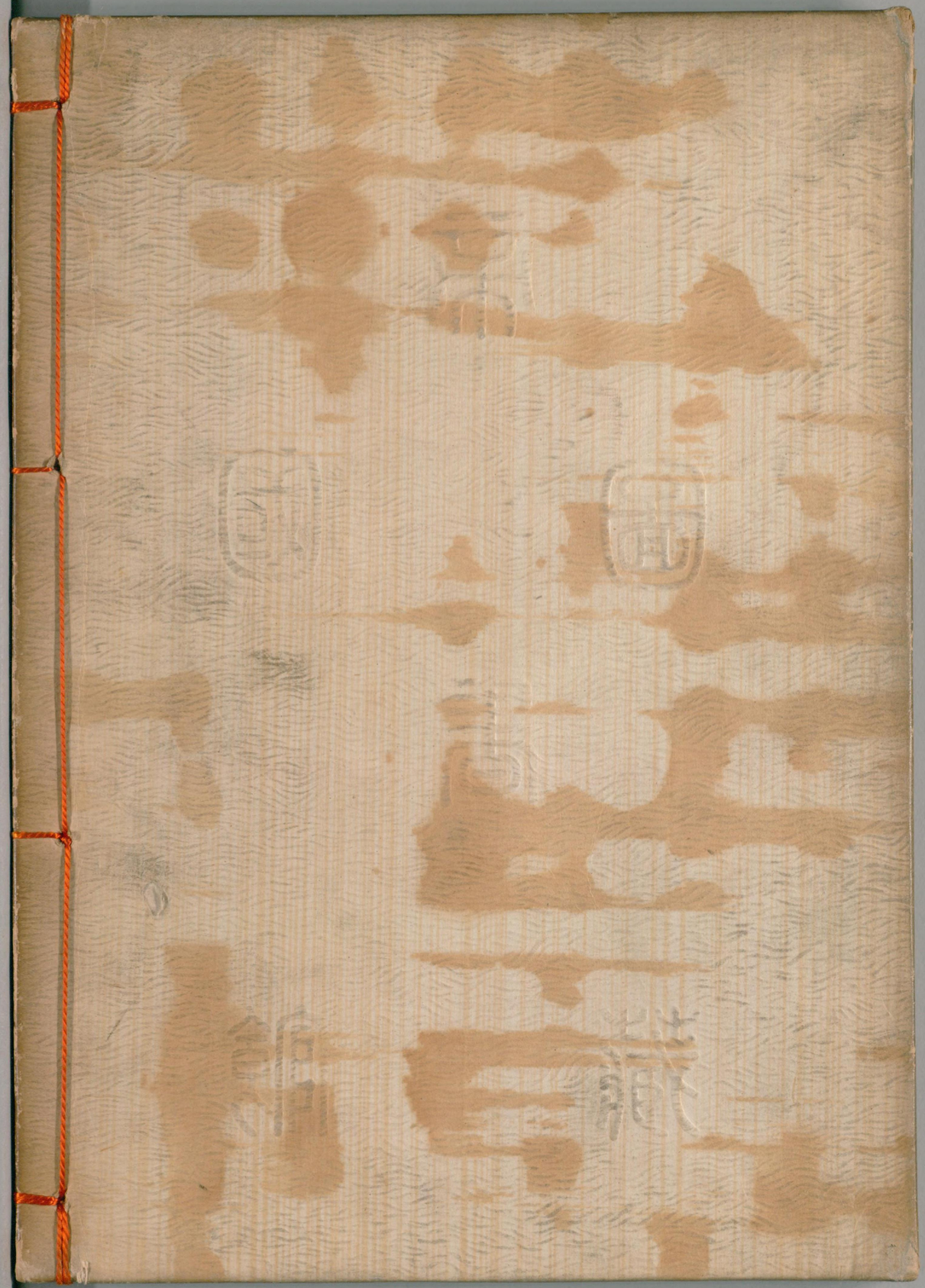
国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

830
30
1

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用